

■ 基準病床数算定式に基づく試算表(H30.9.19現在)

参考資料 1

※病床利用率は、上段が国告示を使用(療養0.90、一般0.76)し、下段がH29病床機能報告(療養0.90、一般0.79)を使用。

医療圏	第7次計画 基準病床数(H31.4.1) (基準病床数算定式に 基づく試算)		既存病床数 (H30.4.1)	第7次計画 基準病床数 (当初 (H30.4.1)	既存病床数 (H30.3.31) - 第7次計画 基準病床数 (H30.3.31)	第7次計画基準病床数 (H30.3.31) - 第7次計画基準病床数(H31.3.31)		第7次計画基準病床数 (H31.3.31) - 既存病床数(H30.4.1)	
	2018.1.1 人口	2020人口 推計				2018.1.1 人口	2020人口 推計	2018.1.1 人口	2020人口 推計
	①					②	③	④=②-③	⑤=③-①
横須賀・三浦	5,581	5,738	5,285	5,307	△ 22	△ 274	△ 431	△ 296	△ 453
	<u>5,442</u>	5,598	5,285	5,307	△ 22	<u>△ 135</u>	△ 291	<u>△ 157</u>	△ 313

○人口は減少するが、高齢者が増加し患者数が増えるため、基準病床数が増加する。
 ○2020年の人口推計や、国告示の病床利用率を使うと、基準病床数の増加数はより大きくなる。
 ○最低でも135床基準病床数は増加する。

仮に来年度も既存病床数に増減がない場合の、来年度の病床整備の事前協議対象数

■ <国告示病床利用率(病床利用率の下限)>

療養	一般
0.90	0.76

<病床機能報告 病床利用率>

	H29病床利用率		H29採用 病床利用率		H28病床利用率		H28採用 病床利用率		H29 - H28 採用病床利用率	
	療養	一般	療養	一般	療養	一般	療養	一般	療養	一般
横須賀・三浦	0.83	0.79	0.90	0.79	0.81	0.80	0.90	0.80	0.00	▲ 0.01

※出典:平成29年度病床機能報告集計結果

H29病床利用率=年間在棟延べ患者数×100/稼働病床数(平成29年7月1日時点)×365日

■ 参考 人口と病床利用率の影響について

①昨年度と同じ病床利用率で試算した場合 (人口の変化のみで試算)

5,398床 (最新の人口のみを使用した結果、現在の基準病床数5,307床から91床増加する。)

⇒ 高齢者人口の増により入院者数・受療者数が増加し基準病床数が増加する。

②昨年度と同じ人口で試算した場合 (病床利用率の変化のみで試算)

5,350床 (最新の病床利用率のみを使用した結果、現在の基準病床数5,307床から43床増加する。)

⇒ 一般病床の利用率が▲0.1下がるため、基準病床数が増加する。